

授業科目	精神看護学 目的論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次前期	1	講義	15時間
到達目標	1. 精神看護の概念を理解する。 2. こころの健康の意義について理解する。 3. 精神保健医療福祉の変遷と課題について理解する。 4. 精神に障害の持つ対象に関する法と制度について学び、支援システム、社会資源の方法を理解する。					講師
						専任教員 精神保健福祉士
授業計画						
1回	精神保健医療福祉の変遷					専任教員 (11時間)
2回	精神保健医療福祉の変遷 グループワーク					
3回	精神看護の倫理と人権擁護 事例検討					
4回	こころの健康					
5回	精神看護とは					
6回	リエゾン看護					
7回	精神障害と法制度 精神保健福祉法 障害者総合支援法					精神保健福祉士 (4時間)
8回	地域移行支援・地域生活移行支援の基礎					
評価方法	修了試験：選択肢選択又は論述問題（100%） 専任教員（70%）、精神保健福祉（30%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 精神看護学Ⅰ 精神保健学 ニューヴェルヒロカワ 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ニューヴェルヒロカワ					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					